

1年生へのインタビュー（手紙交換）	（2）小学校との連携・交流
公立保育所	弁天保育所
<b>&lt;実施時期&gt;</b>	12月
<b>&lt;幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分&gt;</b>	
「協同性」「数量や文字などへの関心・感覚」「思考力の芽生え」「言葉による伝え合い」	
<b>&lt;活動のきっかけ&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前健診後、小学校へ行ったことを子ども同士で話をしている、小学校への興味や期待が高まっている姿が見られた。</li> <li>・保育所の手紙を届けに行った際、校庭にあった1年生の育てている植物に、昨年度の修了児の名前を見つけ、「元気かな?」「会いたいな」という声が聞かれた。</li> <li>・給食のメニュー書きをする等、文字を書くことへの意欲が高まっていた。</li> </ul>	
<b>&lt;活動のねらい&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児が小学校に関心を持ち、期待と安心をもって就学できるようにする。</li> </ul>	
<b>&lt;経験する内容&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字に関心を持ち、読んだり書いたりする。</li> <li>・友だちの前で自分の考えを伝えたり、友だちの意見を聞いて考えたりする経験をする。</li> <li>・手紙を届けた際、校庭で遊ぶ機会を持ち、就学への期待の気持ちをもつ。</li> </ul>	
<b>&lt;新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において小学校と直接的な交流は持てないが、できるだけ間接的でも小学生とのやり取りや、小学校へ足を向けるきっかけをもてるようにする等、可能な活動を取り入れ、関心を深めていけるようにした。</li> </ul>	
<b>&lt;活動の内容&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟がいない子など、小学校のことを全く知らない子もいるので、グループでの話し合いの前に、全体での話し合う時間をつくり、小学校のことで知っていることを出しあう。（給食があること、国語・算数などいろいろな勉強があること、休み時間があることなどがあがる）</li> <li>・それまでの年長活動の中で、3～4人のグループで話し合う機会をもつようにしていた流れがあり、4人グループを子どもたちで作り、どんなことをインタビューしたいか話し合う。</li> <li>・グループごとに決まった1年生への質問を、それぞれグループごとに手紙を書く。（質問と名前を記入する）決まった質問をグループごとに発表する。</li> <li>・手紙を小学校へ届けに行き、校庭の遊具で遊ぶ。</li> <li>・1年生が手紙書いてくれた連絡を受け、皆で手紙を受け取りに行く。校庭の遊具で遊ぶ。</li> <li>・1年生からの手紙の返事を皆で見て、保育所との違いや共通点に気づく。また、いつでも子どもたちが自由に見ることができるよう廊下に貼りだす。</li> </ul>	

<p>＜活動でみられた子どもの姿＞</p>	<p>＜環境構成・教材や保育者の援助等＞</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のことで知っていることを友達に伝える。その中で興味をひいたことなどを、自分達なりの言葉にして表す。</li> <li>・文字が苦手な児もいたが、グループの友だち同士で教え合いながら、協力して手紙を作成する姿が見られた。</li> <li>・出来上がった手紙を小学校に届けに行った際、小学校の先生への挨拶や、保育所について聞かれたことに答えたりしていた。</li> <li>・校庭で遊んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけっこをして校庭の広さを知る。</li> <li>・築山や登り棒に登り高さに驚く。</li> <li>・いろいろな高さの鉄棒に興味をもち、逆上がりや前回り等をする。逆上がりの補助機を使って逆上がりができることを喜び、何度も挑戦してみる。</li> <li>・「また遊びに来たい」と次回を楽しみにする姿が見られる。</li> </ul> </li> <li>・返事をもらおうと、誰が書いてくれたのかと考えたり、休み時間にドッチボールをしていることなど、自分たちがしていることとの共通点を見つけ喜び、小学校へ行くことへの期待の気持ちをもったりしていた。</li> <li>・保育所の廊下に小学校からの手紙を貼り出すと、友達と一緒に1文字1文字声に出して読</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数のグループで話し合いを行い、全体の話し合いの場では発言しない児も、自分の考えを伝えられるようにしたり、友達の意見にも耳を傾け一緒に考えたりできるようにした。</li> <li>・文字に苦手意識をもつ児もいたが、ひらがな表を用意したり、下書きをなぞったりできるようにし、「自分たちで書いた」という達成感をもてるようにした。</li> <li>・小学校の先生に対して、どのように関わったり言葉をかけたりすることがふさわしいか、考える機会をもつようにした。</li> <li>・授業で校庭を使っていない時間帯に行き、校庭で遊べるようにした。保育所の所庭や遊具との違いを体験したり、次に来たときにやってみたいことをみつけたりし、楽しめるようにした。</li> <li>・返事が書かれた手紙を掲示することで、小学校のことを知り興味を深め、就学への期待の気持ちを持ったり、自分たちが書いた手紙に返事が来る喜びを感じたりできるようにした。</li> <li>・廊下にひらがな表を掲示したり、手紙ごっこへ発展していけるようにポストや手紙の紙を用意し、年賀状を書く活動などを取り入れたりした。</li> </ul> <p>んでみる姿がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字への興味が深まり、字を読んだり書いたり、友達へ手紙を作ったりする姿が出てきた。</li> </ul>
<p>＜成果と今後の課題＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への親しみをもつことができ、「またやってみたい」「また行きたい」という声が聞かれた。</li> <li>・例年と違う状況の下、学校側に迷惑がかかるのではないかという思いも強かった。しかし小学校での連絡会は例年通り開催していただくことができ、その際に思っていることや願いを伝えたところ、小学校側からの理解も得ることができ、良い経験に繋げることができた。今後も学校と連絡を取り合い、保育所側からのアプローチを積極的に行っていく。</li> </ul>	
<p>＜カリキュラムコーディネーターのコメント＞</p>	
<p>子どもによって小学校や入学に対する知識の差が大きいため、小学校の訪問前に子ども同士での話し合いの機会を設定したことは大きな意味があったと思います。実際には一度の体験から得られることはそれほど多くはありませんが、もちかえって振り返ったり疑問を出し合ったりすることによって、入学に対する不安が提言し、小学校に対する期待を高めることができました。今後も継続して取り組んでほしいです。んでみる姿が見られた。</p>	